



Heart News

ハートニュース

NO. 2 2007

企画
日本循環器学会
教育研修委員会
発行
日本心臓財団

心房細動ってどんな不整脈? ~自律神経活動に注目して~

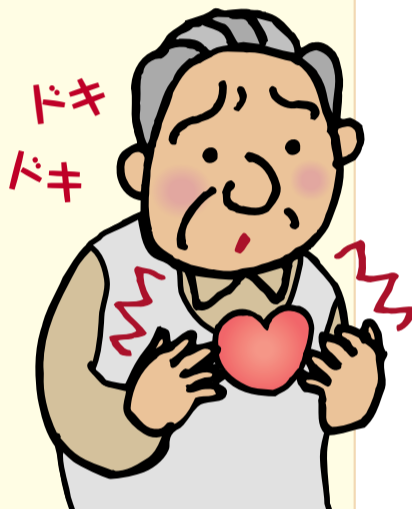
監修 池田 隆徳 杏林大学医学部第二内科 准教授

あなたにも心房細動の危険が...

なぜ起こるの?

心房細動は、心臓に病気がある人だけでなく、ストレスや不規則な生活習慣でも起きてきます。自律神経活動の亢進が誘因となりやすい不整脈として知られており、日中に起きやすい、夜間に起きやすい、食後や飲酒後に起きやすい、運動時に起きやすい、などはその典型的な場合と言えるでしょう。

自律神経とは、意識しないでも内臓や血管の働きをコントロールして、体の環境を整える神経です。交感神経と副交感神経があります。



自律神経活動からみた心房細動の分類です

交感神経緊張型 (発症は日中に多い)

運動、緊張、ストレスで起きやすい。好発年齢・性差なし。

副交感神経緊張型 (発症は夜間に多い)

睡眠、安静、食後、飲酒後に起きやすい。60歳以下の男性に多い。

混合型

発症に明らかな特徴がないもの。



このような心房細動の特徴を確認するために症状記録手帳が役に立ちます。

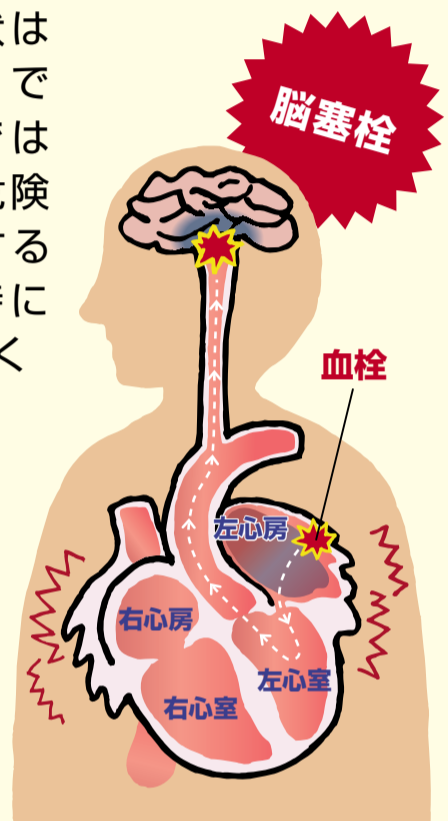
症状記録帳		症状について○をつけてください				
症状が出た時間帯を ← で記入ください		脈が速くなる	動悸(バラバラ)	胸部不快感	めまい	その他()
0:00	6:00	12:00	18:00	24:00		
1日						120
2日						110
3日	睡眠中 →					
4日						130
5日	食後 →					120
6日	早朝 →					

心房細動になると...

心房細動の主な症状は動悸(脈のバラバラ感)です。致命的な不整脈ではありませんが、下記の危険因子がある人や持続する場合は血栓塞栓症(特に脳梗塞)をきたしやすくなります。

抗凝固薬で予防したほうがよいでしょう。

心房細動が持続すると、心房内に血の固まり(血栓)ができやすくなります。その血栓が血管を通過して脳の細い血管に詰まると、脳梗塞(脳塞栓)が起こる危険があります。



心房細動で血栓塞栓症をきたしやすいのはこんな人

高齢者

他の心臓病がある

高血圧

糖尿病

脳梗塞を起こしたことがある

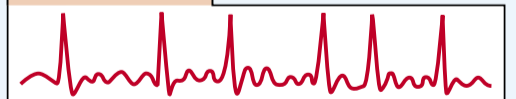
心房細動の治療は?

薬物療法とカテーテルアブレーション療法があります。薬物療法では自律神経が関与して発現するときは、その抑制作用を併せ持つ薬物を用いると、治療効果をあげることができます。

治療の目的

- ① 自覚症状の改善
- ② 生活の質 (quality of life; QOL) の向上
- ③ 血栓塞栓症の予防

心房細動の心電図



正常な心電図



日本心臓財団とは

1970年に発足以来、研究助成や予防啓発、国際交流などの諸活動を通して、心臓血管病の予防・制圧に努めております。当財団は皆様のご寄付により運営されていますので、どうぞご協力をお願い申し上げます。

財団法人 日本心臓財団
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル
☎03-3201-0810

インターネットでもさまざまな情報を発信しています。

<http://www.jhf.or.jp/>